

出力可変型FM送信機

SA-200



概要

- 本機は、主にコミュニティーFM放送に使用する送信出力20WのFM送信機です。

特徴

- 送信出力が1W～25Wまで可変できるFM送信機です。
- ステレオ変調部、送信部、電源部の全てを一体化。
- 送信部に大電力のPOWER MOSFETを採用し、出力に十分余裕を持たせ、連続送信に余裕をもって耐える設計となっています。
- 豊富なプロテクション回路を搭載し、内的・外的に発生するストレスから回路を保護しています。
- 通常の音声入力の他、コンポジット信号の入力が可能です。
- 詳細およびその他仕様変更はお問い合わせください。

定格

* 送信機／中継送信機モデル名称は末番で区別する。(SE:送信機、FC:中継送信機)

送信周波数	76MHz～95MHz (指定1波)	
標準送信出力	20W (1W～25W可変可能) 50Ω不平衡 N型コネクタ	
送信周波数偏移	±75kHz以内	
音声入力	L/R 入力	0dBm～+4dBm @100%変調 (L/R) 600Ω バランス、キャノンコネクタ(メス座)
	コンポジット信号入力	1Vp-p(標準) @100%変調 (3.5Vp-pまで可能) 75Ω BNC
電源電圧	AC 100V±10% 50/60Hz	
消費電力	約150VA以下	
使用環境	温度	-10℃～45℃(性能保証範囲)
	湿度	90%以下(結露なきこと)
冷却方式	自然空冷	
外形寸法	482(W)×430(D)×88.1(H)mm(突起物含まず) * アダプタでJISサイズに対応	
質量	8kg以下	

性能

送信周波数偏差	±0.5×10 ⁻⁶ 以内 (10年間:±2.5×10 ⁻⁶ 以内)
プリ・エンファシス	50Hz～15kHz: +0dB, -0.5dB以内 @1kHz基準 50μs
歪率(THD+N)	1.0%以内 (50Hz～15kHz)
S/N	65dB以上 @1kHz基準
残留振幅変調雑音	無変調時: -60dB以下 100%変調時: -50dB以下
分離度	35dB以上(50Hz～15kHz)
スプリアス	-70dBc以下(スプリアス領域) -60dBc以下(帯域外領域)
占有周波数帯域幅	200kHz以下